

「砂の津波」が押し寄せる ゴビ砂漠の町にオアシスを！

第5回ゴビ砂漠友好植林ボランティア募集

派遣期間：平成26年5月14日(水)～5月21日(水)



天の大きさと同じ広さの砂漠。その境界線の彼方まで牧草を求めて

《ゴビ砂漠友好植林フォーラム参加団体》

公益財団法人オイスカ静岡県支部(担当：友田、内山)

TEL:053-464-0339 FAX:053-463-0316

オイスカ「駿河の国」連絡所(担当：亀山)

TEL:090-7690-8766 FAX:054-364-8010

静岡県地域外交課

TEL:054-221-2967 FAX:054-221-2542

《旅行企画実施》

(株)遠鉄トラベル葵町営業所(担当：森泉)

〒433-8114 浜松市中区葵東 2-24-1

TEL:053-437-3141 FAX:053-437-3170

”ゴビ砂漠の東の地”にオアシスを

ドルノゴビとは「ゴビ砂漠の東の地」という意味です。21ある県の一つ。人口は58,000人で面積は109,472km²、人口密度はわずか0.53/km²で、広大な天空と同じ広さの大地で人に出会うことはまれです。目にするのはヤギや羊、馬、牛そしてラクダの群れです。天と地が織りなす何もない広大な空間が最大の魅力かもしれません。

そのドルノゴビ県のガンホヤク知事は信州大学卒業後、駐日モンゴル大使館で6年間仕事に従事された日本大好きの人です。また、オイスカ・モンゴル総局の会長でもあります。

平成22年5月、静岡県より29名の植林ボランティアがその「ゴビ砂漠の東の地」を訪問し植林を行いました。その時、地元の子供たちや住民と共に押し寄せる「砂の津波」を食い止める緑のオアシスを育てようという思いを強くしました。川勝知事はドルノゴビ県に大きな関心を示し、積極的に交流を深め11月には大統領立会いのもと友好都市の覚書を交わしました。

その友好親善の証として新しく建設された道路に「静岡通り」と命名され、昨年はその通りに地元の第5総合学校の生徒たちと共に街路樹を植えました。この事業に対し静岡県も協働事業として取り組むことになりました。植樹後は第5総合学校の生徒たちが水管理や牧畜被害防止を行ってくれます。そのお陰で街路樹は元気に育っているという報告が届いています。

“ゴビ砂漠の東の地”の緑化など夢にも思っていなかったドルノゴビ県民も、「砂の津波」から町を守るため積極的に植林に取り組む意識が芽生えました。さらに街のオアシスづくりに静岡県民の活動が役に立つことを願っています。

モンゴル政府は植林の重要性を認識し、5月12日を「緑の日」に制定し全国民に植林を呼びかけています。モンゴルは世界で最も温暖化が進んでいる国として挙げられており、砂漠化の脅威はただ事ではありません。緑化事業は大変なことですが日本人大好きのモンゴル人は私たち日本人と一緒に植林できることをとても楽しみにしています。彼らと一緒に一步一步着実に緑を増やしていきたいと思います。今年も“ゴビ砂漠の東の地”の人々が静岡県民の来訪を今か今かと待ち望んでいます。

《募集内容》

募集人数:15名(最少催行人数10名)

参加資格:15歳以上の健康な男女

参加費:241,000円(※燃油サーチャージの変更が生じた場合はその分が加算されます。)

添乗員:1名が同行します。

申込締切:平成26年4月10日(木)

参加者説明会:平成26年4月20日(日) 14時00分～15時30分

会場:オイスカ高等学校 会議室

浜松市西区和地町5835番地 TEL:053-486-3011

旅行条件:参加費に含まれるもの……航空運賃、現地滞在中の宿泊費、食事代、交通費、入場料

:参加費に含まれないもの……自宅から成田空港までの往復交通費、パスポート取得料、お飲物代、任意の旅行傷害保険、

:個人的費用……一人部屋追加料金(15,000円)

:参加取消料……出発の30日前から7日前まで……………旅行代金の30%

出発の6日前から3日前まで……………旅行代金の40%

出発の2日前から出発当日まで……………旅行代金の50%

無連絡不参加及び旅行開始後……………旅行代金の100%

《現地実施機関》モンゴル国ドルノゴビ県 オイスカ・モンゴル総局 アイリスツアーズ

《 日程表 》

	月日	時間	行動内容	交通	宿泊
第1日目	5月14日 (水)	12:30 14:40 18:50	<u>成田空港第1南集合、搭乗手続き</u> 成田空港出発、ウランバートルへ ウランバートル空港到着	OM502	フラワーホテル泊
第2日目	5月15日 (木)	16:30	日本大使館にてモンゴル現地事情レクチャー 日本人墓地参拝。ウランバートル市内観光 歴史民俗博物館見学 寝台列車にてウランバートルを出発、ドルノゴビ県へ移動	専用車 専用車	車中泊
第3日目	5月16日 (金)	01:30 終日	ドルノゴビ県サインシャンド駅着。 ドルノゴビ滞在 遊牧民ゲルを訪問、ラクダに乗って砂漠を散策 遊牧民の生活見学 夕食後、遊牧民の伝統文化についてレクチャー	専用車	サインシャンドホテルにて休息 「タバンドヒオ」 ゲルキャンプ泊
第4日目	5月17日 (土)	終日 夕刻 23:00	ガンホヤク知事(オイスカモンゴル会長)表敬訪問 県庁にて砂漠化と緑化対策についてレクチャー、Q&A 植林活動 植林終了後、学生たちと交流 サラフホー民族舞踊楽団コンサート サインシャンド駅を寝台列車にて出発、ウランバートルへ	専用車 夜行寝台列車	車内泊
第5日目	5月18日 (日)	08:05 午後 深夜	ウランバートル駅到着、ホテルにて休憩。 ホテル出発、国立公園テレルジへ移動 チンギスハーン広場見学 満天の星空観賞(天気にもよります)	専用車	ゲルキャンプ泊
第6日目	5月19日 (月)	終日	朝食後「13世紀村」観光 途中チンギスハーン騎馬像を見学 乗馬体験、ミニハイキング	専用車	ゲルキャンプ泊
第7日目	5月20日 (火)	午前 午後 夕刻	朝食後、ウランバートルへ出発 ウランバートル市内観光とショッピング コンサート鑑賞	専用車	フラワーホテル泊
第8日目	5月21日 (水)	05:30 08:05 13:40	ホテル出発 ウランバートル空港出発 成田空港へ 成田空港着、解散	OM501	

友好都市ドルノゴビ県における植林フォーラム参加申込書

フリガナ			NAME (英語)		
氏名					
生年月日	西暦	年(大正・昭和・平成)	年	月	日(歳)
	性別	男・女			
現住所	〒 住所: TEL () - FAX () - 携帯電話番号: Eメール:				
勤務先 学校	名称: 〒 電話() - 住所:				
渡航中の 連絡先	(現住所と同一の場合は同上) 〒 住所: 氏名: 関係: 電話:				
旅券 (パスポート)	ある	旅券番号		発行日	年 月 日
	ない	取得予定日		年 月 日	
同室希望	・ない ・ある(さんと)				
一人部屋希望	・希望する ・希望しない				
タバコ	・禁煙 ・喫煙				

- ※ パスポートをお持ちの方は申込時にパスポートのコピーをお送りください。
- ※ パスポートは帰国日より6ヶ月の有効期限が必要です。必ず確認してください。
- ※ 一人部屋希望の場合は、15,000 円追加されます。
- ※ 成田空港第1南ターミナルのモンゴル航空カウンター前に集合、帰国時も成田空港で解散です。
- ※ 申し込み先 (この申込書を下記のいずれかへFAX, あるいは郵送してください。)

1. オイスカ静岡県支部 〒435-0036 浜松市南区渡瀬町87
担当:友田、内山 TEL:053-464-0339 FAX:053-463-0316
2. オイスカ「駿河の国」連絡所 〒424-0114 静岡市清水区庵原町134-3
静岡トヨペット(株)清水東名店内
担当:亀山 TEL:090-7690-8766 FAX:054-364-8010
3. (株)遠鉄トラベル葵町営業所 〒433-8114 浜松市中区葵東2-24-1
担当:森泉 TEL:053-437-3141 FAX:053-437-3170